

創業85周年

高度な技術によって幅広いニーズにあわせた最適空間を実現してきました。

創業期～昭和初期

わが国の中核産業であった紡績業界に対し、精密な温湿度調整装置・噴霧給湿装置・真空除塵装置の設計・製造・据付等により大きな技術的信頼を得ました。その後、紡績各社の絹糸・人絹等の製造加工への進出に伴い、当社も紡績工場の空調設備、乾燥装置の設計・施工に積極的に取り組みました。

昭和30年代～40年代

日本経済の高度成長による建設ブームの中、産業施設や一般ビルの空気調和設備工事に積極的に進出し、業容の拡大と株式上場を機に、本社を大阪から東京に移転しました。また、VAV方式用ユニットを開発し、省エネ空調システムに早くから取り組みました。

昭和50年代～60年代

ハイテクビル、インテリジェントビル、計算センター、病院、薬品工場および各種研究所等の空気調和・衛生・防災設備で産業界の発展に寄与しました。また、高度な技術力を駆使して、日本の先端技術をリードする半導体製造工場の超クリーンルーム化を実現し、多様なユーザーニーズに対応しました。

平成元年～現在

地球環境保護意識の高まりからバイオ・アグリ環境技術、居住・作業環境技術に取り組み、省エネ制御機器やエンバイロメンタルチャンバ等環境技術の具現化を図りながら事業領域を拡げています。また、省エネシステムの提案を含めたりニューラル事業の展開や海外事業にも取り組んでいます。

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第82期中間報告書をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

期中の市場環境について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済を顧みますと、新興国の堅調な経済に支えられ外需産業を中心に企業業績の改善や、政府の経済対策の効果等により景気は緩やかな回復傾向にありましたが、期半ばからの急激な円高の進行は景気回復の動きを弱めることとなりました。

当社グループの関連事業の環境は、設備工事業に

つきましては、官公需の減少に加えて、企業業績の改善が新たな設備投資意欲を持ち直すまでに至らず、厳しい受注環境に置かれております。精密環境制御機器の製造販売事業につきましては、世界的な半導体の需要増および中国を始め新興国などを中心とした液晶テレビの需要にけん引され、半導体および液晶パネル製造装置の事業環境が前年に比べ著しく好転し、当第2四半期連結累計期間の機器製品全体の受注高、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

通期の見通しについて

第3四半期以降の見通しにつきましては、欧米の景気が下振れする懸念や、急激な円高の進行は国内景気を減速する懸念が高まっており、先行きについては不透明感が広がりつつあります。当社グループのコア事業である設備工事業につきましては、引き

続き厳しい受注環境が続くと思われます。一方、機器製造販売事業につきましては、上半期同様堅調に推移すると思われます。

株主の皆様へのメッセージ

当社グループは第13次中期経営計画の最終年度を迎えております。厳しい経営環境の下、グループ一丸となって、数値目標の必達と戦略的課題の解決に全力をあげて取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも特段のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月



代表取締役社長 高須 康有

【連結業績のポイント】

受注高▶ **333億5** 百万円

事業別の内訳は、設備工事受注が277億2千3百万円(前年同期比15.9%減少)、機器製品受注が55億8千1百万円(前年同期比106.6%増加)となりました。機器製品受注は、主として液晶製造装置向けが大幅に増加いたしました。

売上高▶ **359億8千6** 百万円

事業別の内訳は、完成工事高が306億8千5百万円(前年同期比18.1%増加)、製品売上高は、受注の大幅な増加を受けた結果、53億1百万円(前年同期比107.5%増加)となりました。

経常利益▶ **15億2千8** 百万円

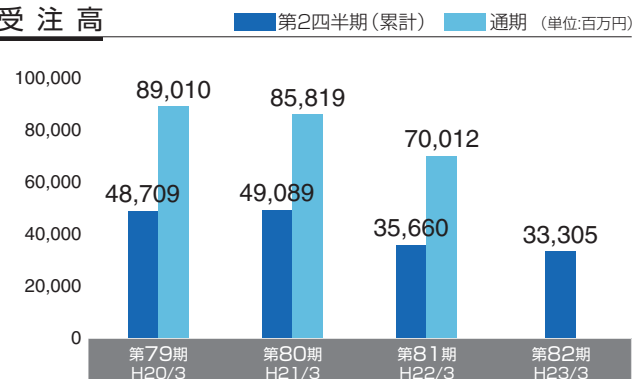
売上高の増加と売上総利益率の改善もあって、売上総利益は、前年同期比13億8千7百万円増加の40億1千万円となりました。販売費及び一般管理費は、前年同期比若干の増加をいたしました。営業利益は、前年同期比13億4千9百万円増加の14億5千5百万円となり、営業外収支7千2百万円がプラスされた結果、前年同期比13億5千9百万円の増加となりました。

四半期純利益▶ **7億9千3** 百万円

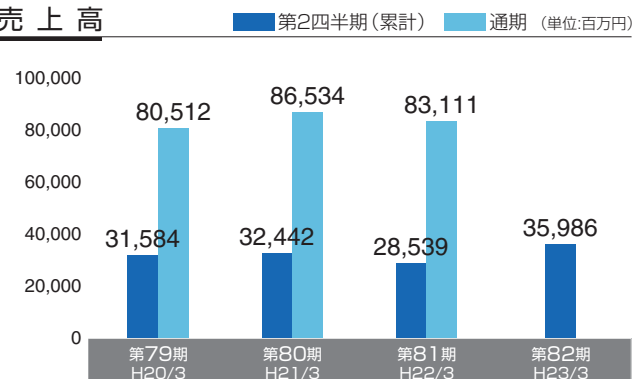
特別利益と特別損失の計上額は、ほぼ同額となりました。税金等を控除した結果、前年同期比7億5千2百万円の増加となりました。

財務ハイライト

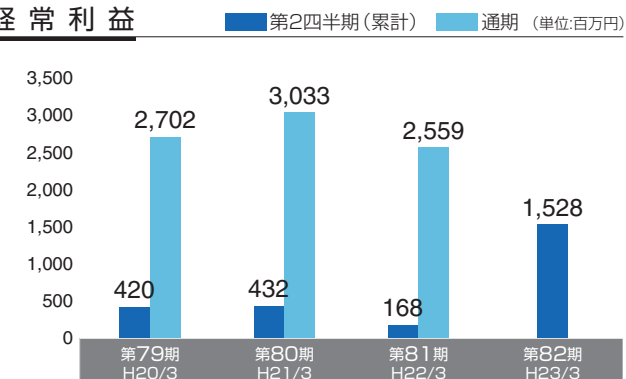
受 注 高



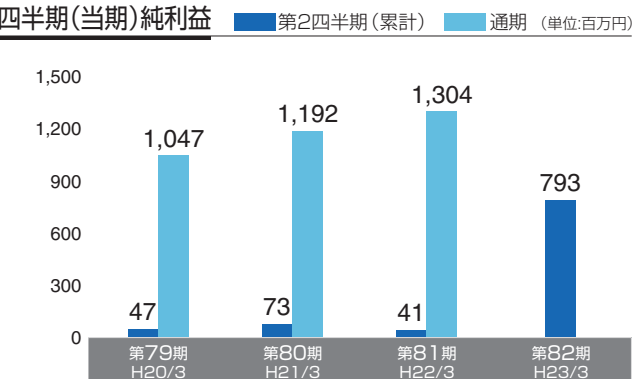
売 上 高



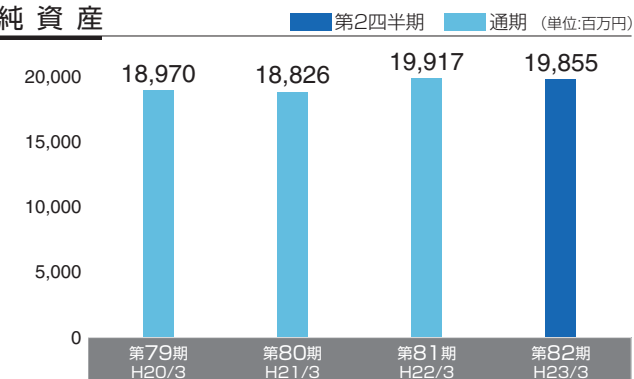
経 常 利 益



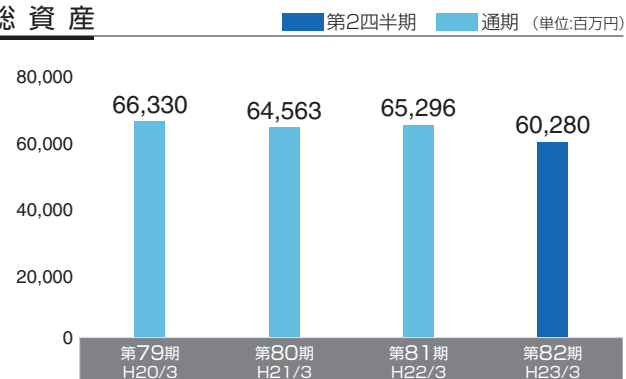
四半期(当期)純利益



純 資 産



総 資 産



連結財務諸表(要約)

貸借対照表

単位:百万円

	当第2四半期末 平成22年9月30日現在	前期末 平成22年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	47,288	52,079
固定資産	12,992	13,217
有形固定資産	5,216	5,200
無形固定資産	356	384
投資その他の資産	7,419	7,632
資産合計	60,280	65,296
(負債の部)		
流動負債	36,743	41,539
固定負債	3,680	3,840
負債合計	40,424	45,379
(純資産の部)		
株主資本	19,746	19,447
資本金	3,857	3,857
資本剰余金	3,721	3,721
利益剰余金	12,544	12,244
自己株式	△ 376	△ 376
評価・換算差額等	109	470
その他有価証券評価差額金	203	543
為替換算調整勘定	△ 94	△ 72
純資産合計	19,855	19,917
負債純資産合計	60,280	65,296

損益計算書

単位:百万円

	当第2四半期累計 平成22年4月 1日から 平成22年9月30日まで	前年同期 平成21年4月 1日から 平成21年9月30日まで
売上高	35,986	28,539
売上原価	31,975	25,916
売上総利益	4,010	2,622
販売費及び一般管理費	2,554	2,516
営業利益	1,455	106
営業外収益	136	129
営業外費用	63	67
経常利益	1,528	168
特別利益	9	—
特別損失	9	12
税金等調整前四半期純利益	1,528	155
法人税、住民税及び事業税	539	72
法人税等調整額	195	41
少数株主損益調整前四半期純利益	793	—
四半期純利益	793	41

キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	当第2四半期累計 平成22年4月 1日から 平成22年9月30日まで	前年同期 平成21年4月 1日から 平成21年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	4,087	△ 1,537
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 198	△ 80
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 956	△ 1,121
現金及び現金同等物に係る 換算差額	21	△ 20
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	2,954	△ 2,759
現金及び現金同等物の 期首残高	5,391	6,969
現金及び現金同等物の 四半期末残高	8,346	4,209

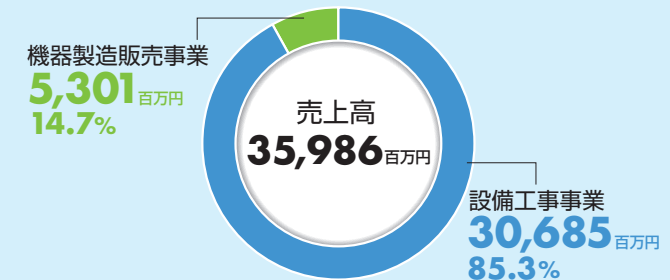
財務の詳細内容は、当社ウェブサイトからご確認ください。

朝日工業社

検索

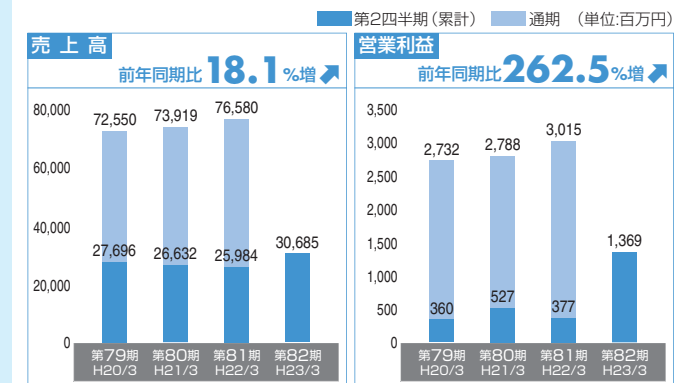
セグメント情報

売上高構成比



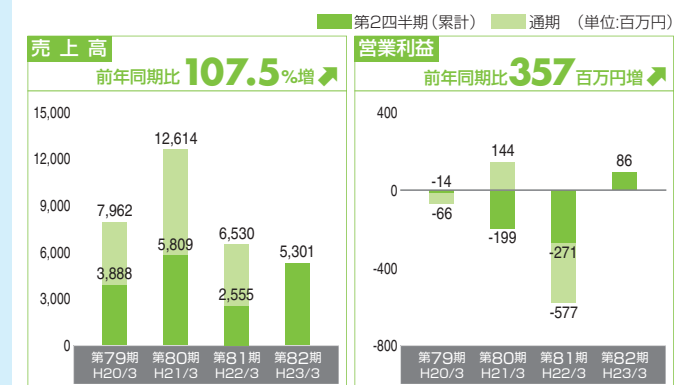
設備工事業

事業内容: 空気調和、給排水衛生、クリーンルーム等の環境整備に関する諸設備の設計、施工および監理



機器製造販売事業

事業内容: 半導体および液晶製造装置向け精密環境制御機器の製造販売



会社の概況 (平成22年9月30日現在)

商 号	株式会社朝日工業社 ASAHI KOGYOSHA CO.,LTD.
創 業	大正14年4月3日
設 立	昭和15年8月8日
資 本 金	3,857,100千円
代 表 者	代表取締役社長 高須康有
従 業 員 数	925名(連結)、895名(単体)
事 業 内 容	■設備工事業 ■機器製造販売事業
事 業 所	本社および本店(東京都港区) 大阪支社(大阪市淀川区) 支店8ヶ所、営業所30ヶ所 機器事業部(千葉県船橋市) 技術研究所(千葉県習志野市)
建設業許可	国土交通大臣許可(特-21)第2822号 管工事業、電気工事業、 機械器具設置工事業、建築工事業 国土交通大臣許可(般-21)第2822号 消防施設工事業

連結子会社 (平成22年9月30日現在)

国 内	北海道アサヒ冷熱工事株式会社 旭栄興産株式会社
海 外	亞太朝日股份有限公司

ホームページのご案内



当社ホームページをご覧ください。

朝日工業社 検索

<http://www.asahikogyosha.co.jp>

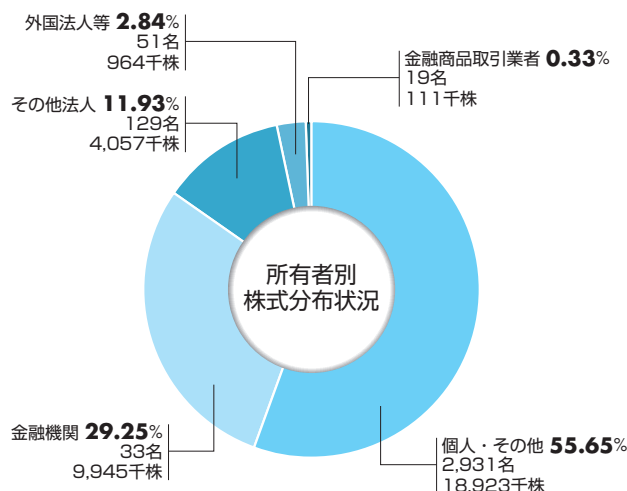
株式の状況 (平成22年9月30日現在)

発行可能株式総数	78,198千株
発行済株式の総数	34,000千株
株主数	3,163名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
朝日工業社共栄会	1,715	5.20
朝日工業社西日本共栄会	1,667	5.06
株式会社みずほ銀行	1,635	4.96
株式会社朝日工業社従業員持株会	1,596	4.84
日本生命保険相互会社	1,567	4.75
株式会社みずほコーポレート銀行	1,441	4.37
農林中央金庫	1,440	4.37
高須佳子	1,072	3.25
高須康有	1,015	3.08
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	659	2.00

株式の所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 その他必要がある場合は予め公告いたします。
株主名簿管理人 特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-288-324(フリーダイヤル)
特別口座お取扱店	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
単元株式数	1,000株
上場金融商品取引所	東京および大阪証券取引所(第一部) 証券コード1975
公告方法	電子公告により行います。 http://www.asahikogyosha.co.jp ただし、やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることが できない場合には、日本経済新聞に 掲載して行います。

※証券会社に口座をお持ちの場合、未払配当金の支払および支払明細発行以外のお手続は、お取引の証券会社にお申し出ください。
※特別口座では単元未満株式の買取および買増以外の株式売買はできません。
※株券電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券をお持ちの場合は至急上記「電話お問い合わせ先」までご連絡ください。



未来が変わる。日本が変わる。チャレンジ
朝日工業社はチャレンジ25キャンペーンに参加しています。
25